

「ひかりの子らしい置き去り防止こども支援活動」

運動会も終わりますます秋の深まりが感じられる季節となりましたが、皆さま体調にお変わりありませんか？

報道でもご存じの通り、昨夏静岡で発生した園バス置き去りの痛ましい事故を受け、弊園も置き去り防止装置のバス内設置や園内研修を行ってまいりました。今学期は、子ども支援活動を進めています。

1つは置き去りされた時の対処法。もう1つは置き去りをみんなで防ぐ活動です。

他園の取り組みをヒントに、寝ている園児を子ども同士で見守る主体的な取り組みこそが、ひかりの子幼稚園らしい支援活動なのではないかという思いに至りました。そこで実際に子ども達の主体性が行動に繋がることをねらいとして、子ども達を集めてバス会議を行いました。

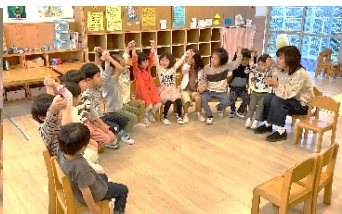
第1回全体バス会議



寝ている子どもの写真を見せ、問いかけました



ひよこ1コース



つばめ1コース



うさぎ1コース

園長：「寝ている子がいるね。」

「みんなバスで寝たことある？」

子ども：「ある！」「ない！」

園長：「バスはみんなを降ろした後、駐車場というバスがお休みするところに戻るのだけど、もし起こされず、眠ったまま一人ぼっちになったらどう思うかな」

子ども：「怖い」「悲しい」「暑い」「寒い」「おなかが減る」「泣く」「ママに会いたい」

口々に子どもたちは自分の思いを表してくれました。

園長：「お友達が一人ぼっちになっても、自分と同じように、怖いとか悲しいと思うんだね」

「じゃあお友達が怖い思いをしないために、寝ているお友達がいたらみんなはどうしたらいいだろう？」

子ども：「起こしてあげる」「起きてという」

園長：「どんなふうに起こしてあげたい？」と聞くと、サッと出てきてこんなふうにと実際にやって見せてくれる子もいました。



ひよこ2コース



つばめ2コース



うさぎ2コース



優しく手を持って起こす



寝ぼすけさんにも「起きてー」って言う



「着いたよ！」って言う

園長：バスのお友達の一つのチームなの。お友達が一人ぼっちにならないように、みんなで協力し合って、寝ている子がいたら起こしてくれる？そういうことを「協力」っていうの。みんな協力してくれるかな？という問いかけに「できる」とひとり一人が深くうなずいてくれ、第1回バス会議を終了しました。

第2回年長バス会議

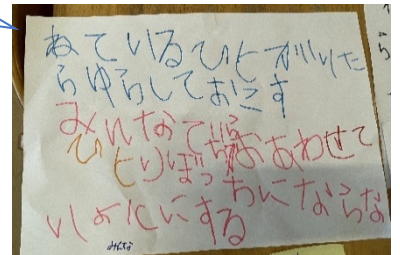
このバス会議を経て10/27（金）には年長組だけの第2回バス会議を行いました。各バスで話し合った内容を振り返り発表しました。これは発言の機会・経験、そして他者との思いの共有が目的です。前回の会議の内容をとてもよく覚えてくれていました。バス利用の年中、年少組に向けて「一人ぼっちにさせない（置き去りを防ぐ）」メッセージを子どもたちと一緒に考え、その内容をバス毎に紙に書きました。

そして10/30（月）そのメッセージを、降園便のバス車内でお友達に向けて発表することになりました。少し恥ずかし気に、でも声を合わせて堂々と発表する年長さんの姿はとても素敵でした。（翌日の登園便でも再度発表しました）

みんなで考えたメッセージ

「寝ている人がいたら揺らして起こす」

「みんなで力を合わせて一人ぼっちにならないようにする」



今回のバス会議で「バス内に取り残された時、どんな気持ちがする？」の質問にあるお子さんが「ママが悲しむ・・・」と発言しました。自分の気持ちはもちろんのこと、他者の痛み、悲しみまでに心を寄せられる思いの深さ、成長に驚き、また感動しました。

園では毎回乗車人数、降車人数を確認し、子どもたちすべてを降ろした後、車内後方から前方へ移動しながら目視での確認を行っています。また安全装置の取り付けの義務化に伴い、運転手がエンジンを切った後、車内後方まで進みボタンを押すまで警報が鳴り続ける装置を取り付けました。

午前9時30分までに欠席連絡がない場合、必ず保護者の方に電話連絡をし、お子さんの出欠確認を行っています。

今後も特別な装置やマニュアル化も大切にしつつ、できるだけ多くの大人の目で幼い命を見守り、子ども同士関心を寄せ、互いに心を通わせるという原点を忘れてはならないと心に誓い、安全教育を進めて参りたいと思います。

（今後の予定として、置き去りにされた時の対処法を、11月の避難訓練日に動画を使って実施する予定にしています。）